

1. 補充教員がいないとき、どのように対応されましたか。

- ①本校ではないが、学校で何人にも電話をして探した。
- ②本校は、教員ではなく県費事務職員の補充が必要だった。県教委から言わされたわけではないが、先に学校で探しました。
- ③管理職・教務・専科が入ったりTTをやめたり、時間割を変更した。
- ④教頭が担任として入った。
- ⑤教員全体で補い合いをした。
- ⑥時間割を特別時間割にして、管理職や空いている教員が授業に入った。養護教諭にも補教や授業に入ってもらった。
- ⑦教務および管理職が授業に入った。
- ⑧本校で病休者が出了とき、「代替はない」と市教委に言わされた。町内の退職者がきてくれた(市内の校長を探してもらったり、自分の心当たりをさんざん尋ねて、やっと一人だけOKをもらった)。
- ⑨過去に補充教員が決まるまで、教頭が授業に入るなど対応した。
- ⑩教務、教頭、校長で対応した。
- ⑪1名減のまま授業を実施した。学習グループを合併して実施した。
- ⑫全員でフォローした。
- ⑬管理職による補充。学部内で調整して運用。
- ⑭今年度はありません。しかし、前任ではよくありました。教頭や校長が授業に入るしかないです。
- ⑮管理職が授業に入っている。残りの教員で仕事を分担している。
- ⑯時間割や担当を組み替えて対応しています。(1.0は配置されずに、10時間ほどの非常勤講師しか配置されていません。)
- ⑰産前休の期日までに間に合った。
- ⑱教頭が担任をして授業等行った。
- ⑲他の教職員で交代で授業に入った。

2. 教員の未配置・遅配置(教員不足)について、困っている状況やご意見をお書きください。

- ①配置されないと正常な学校運営がなされない。他の教職員への負担が増大する。
- ②臨時教員の採用拡大と、待遇改善を推進する必要があると思います。徳島県職員の平均給与が諸手当含め約43,5万円(全国4位)、教員の給与が諸手当含め約41万円(全国26位)と、明らかに差があるのもおかしいです。貴会のご尽力に感謝申し上げるとともに、今後ともご協力よろしくお願ひいたします。
- ③管理職(教頭)が担任をしている学校も多いと耳にします。子供の学びの場を保障するため

にも、教員不足の状況をなくすよう動いていただきたいです。

④コロナになった職員がいたり、出張する者が複数いたりすると学校運営に支障をきたすことが何回もあった。

⑤現在も一名が未配置である。学校運営上大変困っているが、人がいないので、なすべきがなく探すあてもなく、どうしようもない状況である。ただ、近く配置していただける予定である。

⑥教員不足のため補充がスムーズに行われていない。

⑦4月当初より現在まで、休職者の代替として他教科(免許外)の教員が配置されている。

⑧教員数が一人少ない状態であったり、フルタイムの代わりが週12時間の非常勤講師であったり、配置が遅れたりした結果、補教や授業が入るため、管理職や他の教員の本来の業務に支障が出たり、時間外勤務が増えたりした。また、非常勤講師では、給食や清掃指導、校務分掌が担当できないので、他の教員の負担が増えた。

⑨特別支援学級や普通学級で支援を必要としている子どもに、必要な支援ができない。

⑩自校努力で電話をかけまくり、断られ続けてようやく補充教員を確保することができた。もし、その方に断られていたら、本校も補充教員がきていません。とにかく人がいないのが困る。学びサポーターに適任の人をとられているという話も聞いたことがある。そのあたりのバランスは難しいとは思うが、なんとかしてほしい。

⑪産休の補充措置が必要であったが、非常勤講師による臨時的措置になっている。そのため担任が不在のままとなっている。担任不在は、学校の信用を失う重大な問題である。

⑫教職員の育休制度を整備することと、補充教員の確保は一体となっていかなければいけないが、それが十分でないため他の教員が少しずつ補う形で、どうにかやりくりしている現状がある。その割合の多さは、本当に大きな徳島県教育全体の県行政の課題であると感じている。

⑬県教委が代替者を見つけられないのはおかしい、学校に丸投げするのはおかしい。

⑭子どもたちの学力保障や生徒指導、教員の多忙感等、多岐にわたっている。

⑮西部地域だけで必要な教員数を確保するのは難しい。年度途中に欠員が生じると配置が遅れる可能性が大きい。

⑯定数配置できることによる授業・教育活動への影響。他教員への業務のしわ寄せ。

⑰本年度上記期間内において本校では、補充の必要な状況がなかった。

⑱「産育休や病休の代替教員が見つからない」という現場の声はよく聞かれます。教職員が安心して勤務し、児童も安心して学べる環境(人的)がつくられるよう早急に対策を考え、現状を変えていかなければならないと危機感を抱いています。

⑲未配置や遅配置になってしまふことは、学校現場としては、とてもなく負担感が大きい。

⑳他校の校長から、情報提供の依頼を受けたことはありました。

㉑今現在は大丈夫ですが、来年度以降、不安に思っています。未配置や遅配置のないよう、県は早急に対応していくべきだと考えます。

㉒これまで補充が必要なときは、事前に人材を学校側が探し、その人を市・県教委と連携していただき、配置していただいてきた。

㉓現在のところ、該当しませんが、本校でも起こりうることで危惧しております。本来補充教員の配置については設置者の業務であり、校長(学校)で探すものではないと思いますので、円

滑に配置されることを願っております。

㉔教頭が担任をかねて授業を進めた。

㉕この調査の期間以降で1月から補充教員がない状況が継続している。校務分掌や部活動の面で大変苦労している。

㉖担任が妊娠したが、代替がこないので気を遣い、安心して休んでいただけない。

㉗事務職員の産休・育休等の配置について、事務職員本人や学校が探している状態です。教員とは違い、ティーチャーズバンクやマイスター銀行がないため補充者にとっても不安な状態です。せめて、登録バンクの整備を進めてほしいと思っています。

㉘特別支援学級の担任が休んでも、非常勤講師の配置のみであった。

㉙今年度はありません。

㉚幸い本年度本校は、教員数、質ともに恵まれていましたので問題はありませんでした。しかし、他校で臨時教員がいなくて困っているのをよく耳にしました。学校で臨時教員を探すのが当たり前のようなになっているのは、やはり問題だと感じます。

㉛今のところは特にありません。

㉜産休は、早い時期から分かってるので来ないのはおかしい。

㉝本校のような小規模校では、学級数の増減とか加配がつかないが本当に大きい問題である。

㉞本校の件は、最終的に町教委が探してくれたが、私もそれまで探した。旧知の方、旧知の方の知り合いなど、つてを頼って依頼したが、即答で断られた。教員不足の現実を痛感した。

㉟育児休暇など取得できる環境が増えたが、それに合わせた補充教員の確保が進んでいないのが困る。

㉟保護者が心配して学校への問い合わせが何件かあった。

㉡上記のような状況はありませんでしたが、日々の厳しい学校現場において非常勤講師の方がいてくれていることによって学校運営ができます。しかし、勤務には日数などの制限があるので状況に応じた柔軟な働き方をしていただけない状況です。正規採用を希望される方が採用されるように正規教員を増やしてほしいと考えています。

㉢未配置、遅配置の状況では管理職が、代わりに授業を進め、大変であった。

㉔現在、事務職員が病気休職中ですが、代替の事務がいません。

㉕今回のことと全く関係ないかもしれません、補充教員の教員としての資質により、未配置の方がまだましだったということを聞いたことがあります。

㉖未配置についてではありませんが、小規模校のため、必ず教頭が担任することが前提となっています。学級担任のうち誰かが出張や年休のときは、校長が担任して授業をします。当然のように、加配教員は配置されません。なので、まずは教員定数の見直しを図っていただき、教頭担任を無くして欲しいと希望しています。

㉗正教員を増やす。教員志望者を増やすため、教員全体の待遇改善やベースアップを行なうべき

㉘今年度本当に困りました。教員不足については、やはり教師を志望する人を増やすしかないと思います。そのためには魅力ある仕事、働きやすい仕事に変えていくしかないと思います。…中略…異次元の改革をお願いしたいです。

④昨年度は、育休補充の配置が少し遅れ、その間管理職や他の担任が授業に入っていた。ただでさえ、教員数にゆとりのない中(複式解消のため教頭が担任をしている)、もし、補充教員が配置されないとなると、校長が入ることも必要になってくる心配がある。

⑤本校は、徳島市から2時間以上かかる遠隔地故に、補充教員の希望に添わず、引き受け手が少ない。地元の退職教員の方頼みとなっている。

⑥通常学級に在籍する特別な教育の支援を要する児童に、担任が十分かかわることができるよう、学びサポーターを申請したが、学校で探す必要があった。また、複数の学校で代替教員の未配置が起こっており、教務・教頭が授業に入っていると聞いている。